

追手門学院大学 地域創造学部 地域創造学科 カリキュラムマップ

学部人材 養成目的	「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」に関する学修を通じて、幅広い専門知識と教養を身につけ、職業人として、また地域の生活者として、生涯にわたり学び続けるとともに、持続可能な地域・社会を創造することに主体的に参画する地域イノベーション人材を養成する。																					
ディプロマ ポリシー	0. 幅広い教養と豊かな人間性の涵養 ・職業生活や社会生活で必要となる汎用的技能や現代社会に関する幅広い知識と主体的な職能開発や自主的な学習態度を習得している。			1. 地域創造のための基礎的・汎用的な実践的能力 ・地域の問題・課題を総合的かつ実証的に考察することができる。 ・地域の問題・課題の解決策を、主体的に他者との交流・連携・協働の中で構想し、適切な方法で調査・分析・検討をした上で、他者に向けて効果的に発信することができる。			2. 専門学修のコアとなる知識および学際的なもの見方・捉え方 ・地域という「生活空間」に関係する制度や法、政治、経済、行政、文化などに関する知識と技能を修得している。 ・地域創造学がもつ学際的な性格を理解し、幅広い教養を身につけている。			3. 複数のスペシャリティ ・「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」の観点から、地域再生や地域振興、地域活性化に関する専門的な理論や知識を修得している。			4. 関心領域および視野の拡大 ・地域創造に関する自らの関心領域を拡大することができる。									
科目区分 (大分類)	共通教育科目			主体的研究科目群			学部共通科目群			地域創造学科：専攻科目群						発展科目群						
科目区分 (中分類)	共通教育科目			実践演習科目群			学部コア科目群			技能系・実習系科目群		地域政策分野科目群		地域デザイン分野科目群		観光分野科目群		食農マネジメント分野科目群		発展科目群		免許・資格科目群
4年次	JJ11403 卒業研究 JJ11402 地域創造実践演習(総括) JJ11401 地域創造実践演習(発展)																					
3年次 または 3年次以上	JJ11302 地域創造実践演習(展開)2 JJ11301 地域創造実践演習(展開)1																					
2年次 または 2年次以上	【ファウンデーション科目群】 ■ 初年次科目 ■ 外国言語科目 ■ 体育科目 【リベラルアーツ・サイエンス科目群】 ■ リベラルアーツ・サイエンス系科目 ■ 人文系系科目 ■ 社会科学系科目 ■ 自然科学系科目 【主体的学び科目群】 ■ キャリア形成系科目 ■ キャリア展開型科目			JJ21207 法律学概論2 JJ21206 法律学概論1 JJ21205 人文地理学概論2 JJ21204 人文地理学概論1 JJ21203 文化人類学 JJ21202 社会学概論2 JJ21201 社会学概論1			JJ21208 社会政策論 JJ21207 公共経済論 JJ21206 政策科学 JJ21205 地域産業論 JJ21204 地域経済論 JJ21203 地方自治論 JJ21202 地域政策論2 JJ21201 地域政策論1			JJ31225 ソーシャルビジネス論 JJ31224 地域経営論 JJ31223 都市政策論 JJ31222 住民参加論 JJ31221 自治体政策論 JJ31208 社会政策論 JJ31207 公共経済論 JJ31206 政策科学 JJ31205 地域産業論 JJ31204 地域経済論 JJ31203 地方自治論 JJ31202 地域政策論2 JJ31201 地域政策論1		【演習】 JJ31241 地域開発演習 【応用科目群】 JJ31225 ソーシャルビジネス論 JJ31224 地域経営論 JJ31223 都市政策論 JJ31222 住民参加論 JJ31221 自治体政策論 JJ31208 社会政策論 JJ31207 公共経済論 JJ31206 政策科学 JJ31205 地域産業論 JJ31204 地域経済論 JJ31203 地方自治論 JJ31202 地域政策論2 JJ31201 地域政策論1		【演習】 JJ32242 地域デザイン演習2 JJ32241 地域デザイン演習1 【応用科目群】 JJ32225 災害復興論 JJ32224 都市・地域安全論 JJ32223 ユニバーサルデザイン論 JJ32222 住生活論2 JJ32221 住生活論1 【基礎科目群】		【演習】 JJ33241 観光マネジメント演習 【応用科目群】 JJ33226 観光社会学 JJ33225 サステイナブルツーリズム論 JJ33224 観光マーケティング論 JJ33223 観光交流論 JJ33222 観光交通論 JJ33221 観光政策論 【基礎科目群】		【演習】 JJ34241 食農企画演習 【応用科目群】 JJ34226 商品開発論 JJ34225 食品安全論 JJ34224 食品企業論 JJ34223 6次産業化論 JJ34222 食育と食生活論 JJ34221 フードマーケティング論 【基礎科目群】		JJ42295 倫理学概論2 JJ42294 倫理学概論1 JJ42293 哲学概論2 JJ42292 哲学概論1 JJ42291 政治学概論2 JJ42290 政治学概論1 JJ41210 国際特別演習 JJ41209 国際表現演習 JJ41208 国際コミュニケーション論 JJ41207 国際事情 JJ41206 地域創造学特殊講義4 JJ41205 地域創造学特殊講義3 JJ41204 地域創造学特殊講義2 JJ41203 地域創造学特殊講義1 JJ41202 現代文化論 JJ41201 地域イベント論		JJ42289 倫理学概論2 JJ42288 地誌学2 JJ42287 地誌学1 JJ42286 自然地理学概説 JJ42285 東洋史概説2 JJ42284 東洋史概説1 JJ42283 西洋史概説2 JJ42282 西洋史概説1 JJ42281 日本史概説1
1年次 または 1年次以上	※ 共通教育科目の科目・ナンバリング等は 共通教育科目カリキュラムマップ参照のこと			JJ11202 地域創造実践演習(基礎)2 JJ11201 地域創造実践演習(基礎)1			JJ21114 都市と農村 JJ21113 現代社会と地域 JJ21112 社会統計学入門 JJ21111 文化人類学入門 JJ21110 地域研究入門 JJ21109 地域文化史研究 JJ21108 地域づくりと環境 JJ21107 地域づくりと障害者 JJ21106 地域コミュニティ論 JJ21105 少子高齢化社会論 JJ21104 男女共同参画社会論 JJ21103 マネジメント基礎論 JJ11102 地域創造実践演習(入門)2 JJ11101 地域創造実践演習(入門)1			JJ22102 地域調査法2 JJ22101 地域調査法1		JJ32201 地域政策論1		JJ32207 文化と地域デザイン JJ32206 居住福祉論 JJ32205 地域・住宅計画論 JJ32204 都市デザイン史 JJ32203 都市空間計画論 JJ32202 地域デザイン概論2 JJ32201 地域デザイン概論1		JJ33207 観光地域経営論 JJ33206 地域と観光 JJ33205 観光行動論 JJ33204 観光資源論 JJ33203 観光産業論 JJ33202 観光学2 JJ33201 観光学1		JJ34208 食農とサステナビリティ JJ34207 食農と観光 JJ34206 食文化論 JJ34205 農業経済学 JJ34204 食品流通論 JJ34203 フードビジネス論 JJ34202 食農マネジメント論2 JJ34201 食農マネジメント論1		JJ41210 国際特別演習 JJ41209 国際表現演習 JJ41208 国際コミュニケーション論 JJ41207 国際事情 JJ41206 地域創造学特殊講義4 JJ41205 地域創造学特殊講義3 JJ41204 地域創造学特殊講義2 JJ41203 地域創造学特殊講義1 JJ41202 現代文化論 JJ41201 地域イベント論		JJ42289 倫理学概論2 JJ42288 地誌学2 JJ42287 地誌学1 JJ42286 自然地理学概説 JJ42285 東洋史概説2 JJ42284 東洋史概説1 JJ42283 西洋史概説2 JJ42282 西洋史概説1 JJ42281 日本史概説1
卒業要件	28単位以上			20単位(演習：16単位+卒業研究：4単位)			10単位以上			28単位以上						20単位以上						
カリキュラム ポリシー	1. 日本語と外国語によるコミュニケーション能力、数的処理能力や情報リテラシー及び人と社会や自然との関わり理解、職能開発力を高めるための科目群を設ける。 2. 学びの集大成として、4年間で学修した理論や知識と実践を統合させた「卒業研究」を行い、その成果を発表することを求める。 3. 地域創造に関して学修した知識・技能・態度などを実際に活用させ、実践結果をもとに、不足している知識・技能・態度やより高次の知識・技能・態度を修得する必要性を自覚し、学びの深化や拡大につなげることができる内容を扱う。 4. 授業形態は演習とし、アクティブラーニング、体験型学修などを組み合わせて行う。 5. 学修成果の評価は、試験、レポート、参加度、発表内容等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。			1. 実践的な演習・実習系科目と専門的な理論や知識を学ぶ講義系科目を結びつけ、理論・知識の応用と実践によるフィードバックからなる循環性を有した学修を行うことができる科目を配置する。 2. 本学で扱う「地域創造学」は、「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」の視点を核としているため、それぞれの概略を理解するための科目として、「地域創造学概論」を配置し、専攻科目群の学びに繋がる内容を学ぶ。 3. 授業は、講義を中心に、アクティブラーニング、体験型学修などを、適宜、組み合わせて行う。 4. 学修成果の評価は、試験、レポート、参加度、発表内容等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。			1. 学際的な学問である「地域創造学」の基礎となる知識をバランスよく理解し、幅広い教養と調査・分析のための技能を身につけるための科目を配置する。 2. 本学で扱う「地域創造学」は、「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」の視点を核としているため、それぞれの概略を理解するための科目として、「地域創造学概論」を配置し、専攻科目群の学びに繋がる内容を学ぶ。 3. 授業は、講義を中心に、アクティブラーニング、体験型学修などを、適宜、組み合わせて行う。 4. 学修成果の評価は、試験、レポート、参加度、発表内容等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。			1. 「地域創造学」の核となる「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」の観点から、専門的な理論や知識を学ぶための科目を配置する。 2. 専門的な理論や知識を学ぶ講義系科目と実践的な演習・実習系科目を結びつけ、理論・知識の応用と実践によるフィードバックからなる循環性を有した学修を行う。 3. 学生自身がそれぞれ最も関心のある分野から、学びの中心軸となる知識や視点を学修しつつ、他の分野の科目も幅広く履修することで、「地域創造学」の学際的な性格を踏まえながら、専門知識を深く学修することができる体制をとる。 4. 各科目は、授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学修などを、適宜、組み合わせて行う。 5. 学修成果の評価は、試験、レポート、参加度、発表内容等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。						1. 「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」の4つの視点に留まらず、幅広い見識と視野を獲得し、また、学生の進路につなげるための科目を配置する。 2. 各科目は、授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学修などを、適宜、組み合わせて行う。 3. 学修成果の評価は、試験、レポート、参加度、発表内容等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。						
アドミッション ポリシー	地域創造学部は、「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」に関する学修を通じて、幅広い専門知識と教養を身につけ、職業人として、また地域の生活者として、生涯にわたり学び続けるとともに、持続可能な地域・社会を創造することに主体的に参画する地域イノベーション人材を養成することを目的としています。 この目的を実現するために、地域創造学部では、以下に示す関心や意欲、幅広い基礎知識をもっている者を求めます。 (1) 主体性をもって地域の様々な人や団体と連携・協働し、地域・社会に新たな価値を創造することや、より豊かな地域・社会を形成すること、持続可能な社会の創造に高い関心をもっている。 (2) 家族や学校、近隣地域など自身が所属する社会(コミュニティ)において、政治・経済・行政・文化・福祉など日常的に展開される諸活動や社会(コミュニティ)を取り巻く問題、課題を考えることに高い関心をもっている。 (3) 地域政策や地域経済、中小企業の活動などに関心をもち、卒業後に、地域活性化に関わる自治体や企業で活躍したいという強い意欲をもっている。 (4) 暮らしをとりまくさまざまなデザインに関心をもち、卒業後に、地域の特性を踏まえた、都市インフラや居住空間、福祉、地域コミュニティを守り、育て、創造する分野で活躍したいという強い意欲をもっている。 (5) 観光産業の基盤となる自然・文化・くらしといった地域資源に関心をもち、卒業後に、観光を通じて持続可能な社会の実現を目指す分野に従事したいという強い意欲をもっている。 (6) フードシステムや食文化などに関心をもち、卒業後に、食資源を活用した地域づくりに従事したいという強い意欲をもっている。 地域創造学は、経済学や経営学、社会学など複数の学問分野にまたがる学際的な学問です。加えて、地域(ローカル)を考えるためには、グローバルな視点も必要です。 そのため、国語・数学・地理・歴史・政治経済・公民・英語など幅広い科目の知識を身につけ、基本的な理解をすることが必要です。 具体的には、地域の特徴をとらえ、地域の問題・課題の解決策を考えるためには、地理・歴史・政治経済・公民といった知識が求められます。様々な地域を比較、分析するには基本的な数学の知識が必要になる場面もあります。 また、文章を正しく理解し、正確なコミュニケーションを図るためには、国語や英語の知識とその運用能力が必須となります。これらの能力は地域創造学を学ぶ上で、ぜひ身につけておきたい能力です。																					

(※) 卒業要件単位数：124単位(共通教育科目：28単位以上、学科科目：66単位以上、残り30単位は自由選択)